

令和6年度 第1回扶桑町地域公共交通会議 議事要旨

日時：令和6年4月30日（火）午前10:00～

場所：扶桑町役場2階大会議室

出席者：〈委員〉18名中15名

中部大学教授《会長》	磯部 友彦
犬山タクシー株式会社	長屋 涼
愛知県タクシー協会	松浦 秀則
公益社団法人愛知県バス協会	小林 裕之
犬山タクシー株式会社	永川 博之
扶桑町身体障害者福祉会	源口 千秋
扶桑町山那地区	大滝 雅男
扶桑町北新田地区	長瀬 直子
国土交通省 中部運輸局愛知運輸支局	宮川 高彰（随行 長崎 千晶）
愛知県都市・交通局	石屋 義道（代理 吉野 敬太）
愛知県犬山警察署	早川 健太
扶桑町副町長《副会長》	北折 廣幸
名古屋鉄道株式会社	高井 勇輔（代理 清水 孝雄）
社会福祉法人扶桑町社会福祉協議会	安井 友貴
株式会社アイシン	杉山 仁

〈事務局〉4名

生活安全部長	長谷川 明夫
生活安全部 地域協働課長	兼松 孝行
生活安全部 地域協働課 統括主査	林 幸弘
生活安全部 地域協働課 主事	横井 航太

会議資料：資料1：チョイソコふそう本格運行（2024年10月～運行計画（案）

資料2－1：扶桑町地域公共交通計画（改定案）

資料2－2：扶桑町地域公共交通の修正点について

資料3－1：令和5年度扶桑町地域公共交通会議決算の承認について

資料3－2：令和6年度扶桑町地域公共交通会議予算

資料4：扶桑町地域公共交通運行・地域公共交通計画策定スケジュール

資料5：チョイソコふそう実証運行第2期経過報告について（概要版）

R5.10～R6.3

資料6：運行事業者のプロポーザル結果について

資料7：交通不便地域指定申請書の提出について

1 開会

【事務局】 開会の挨拶を行う。

【磯部会長】 挨拶を行う。

【事務局】 扶桑町地域公共交通会議の委員数 18 名に対し、本日は 15 名が出席されている。過半数を超えているので、本日の会議が成立していることを宣言する。代理出席と説明者の出席を報告。傍聴者について説明を行う。また、配付資料の確認を行う。

【宮川委員】 「活発で良い議論ができる会議のために。」について説明を行う。

【磯部会長】 議事録署名者に犬山タクシー株式会社 長屋委員、身体障害者福祉会 源口委員を指名。

2 議題

(1) 協議事項

① チョイソコふそう本格運行移行について

【事務局】 事務局林統括主査より資料 1 に沿って説明。

【宮川委員】 本会議にて本格運行移行の協議を調えるのか、6 月の次回会議で最終可決されるのか確認したい。

【事務局】 本会議では、運賃以外の運行形態、運行区域及び運行区間、運行日、運行時間、運行車両の部分をご協議いただきたい。6 月の会議では運賃について報告する。

【大滝委員】 実証運行期間に利用者から運行日や運行時間帯の要望や意見を聞いたと思うが、反映しないのか。

【事務局】 公共交通計画にも盛り込んでいるが、公共交通全体を見ながら先々協議していく必要があると考えている。まずは現在の運行形態で本格運行へ移行し、その後運行時間帯や運行日について検討していきたい。また、公共交通計画を進める中で公共交通に関するアンケート調査を実施する予定としており、その中でもご意見をいただけると考えている。

- 【磯部会長】 意向調査をしっかりと実施し、直すべき点があるかどうかを確認することが必要かもしれない。要望には受け入れられるものと難しいものがあるので、皆さんで議論して進めていく必要がある。
- 【大滝委員】 議会の答弁で、生活安全部長が需要と供給のバランスを見ながら、増車などを交通会議に諮っていきたいと答えているが、いつ諮るのか。
- 【事務局】 今後の運行状況やアンケート調査結果を見ながら、交通会議に諮って意見をいただきながら協議していきたいと考えており、具体的な時期は答えられないが、本格運行は現状の運行形態で進め、運行形態の変更については本格運行後に継続して協議していく。
- 【宮川委員】 年に1回、計画目標の自己評価をするしくみとなっている。運行内容を見直すかどうかは、その結果を見て判断すればいい。見直しの場合にも、交通事業者の都合等があるので、対応を協議しながら進めていくことになる。また、江南市との連携の方も継続して検討してほしい。
- 【事務局】 まずは現在の運行計画で進めて、要望が多いものについて対応を検討していきたいと考えている。
- 【磯部会長】 本格運行に移行した後も、いろいろな情報を集めて適切な運営をして検討を続けていくことを踏まえて、この案を承認してほしいか。
- 【委員】 異議なし

② 扶桑町地域公共交通計画改定案について

- 【事務局】 事務局林統括主査より資料2-1、2-2に沿って説明
- 【宮川委員】 チョイソコは区域運行なので、「路線の維持」でなく「運行の維持」に修正した方がよい。また、スケジュールとしてはパブリックコメント後の6月の公共交通会議で確定させ、8月で正式に策定ということで良いか。

【事務局】 現在そのように進めていく予定としている。

【磯部会長】 指摘のあった部分の文言を修正したものをパブリックコメントにかけるといことで、この案を承認してよろしいか。

【委員】 異議なし

③ 令和5年度扶桑町地域公共交通会議決算の承認について

【事務局】 事務局横井主査より資料3-1、3-2に沿って説明

【磯部会長】 この件について、承認でよろしいか。

【委員】 異議なし

④ 監事の選任について

【事務局】 事務局林統括主査より説明

【磯部会長】 監事の選出について、事務局として意見はあるか。

【事務局】 事務局としては、山那地区住民代表の大滝委員と株式会社アイシンの杉山委員を推薦する。

【磯部会長】 ご指名いただいたお二人はよろしいか。異議がなければお二人を任命してよろしいか。

【委員】 異議なし

⑤ 地域公共交通運行・地域公共交通計画策定スケジュールについて

【事務局】 事務局林統括主査より資料4に沿って説明

【宮川委員】 補助金の手続きに伴う計画の認定等、国とのやり取りの中でスケジュールのずれが生じる可能性もあることはご承知おきいただきたい。また、いろいろな作業を並行して進めることになるため、関係者間で

調整しながら進めてほしい。

【磯部会長】 あくまでも予定ということになるが、承認ということによろしいか。

【委員】 異議なし

(2) 報告事項

① チョイソコふそう実証運行経過報告について

【事務局】 事務局林統括主査より資料5に沿って説明

【杉山委員】 ドライバーさんに余裕を持たせられるよう調整したことで、1月から利用件数が減ってしまっており、予約不成立が増えるのは理解できるが、2月は不成立件数が大きく増加している。原因を確認した上で対策を打っていきたい。

【磯部会長】 しっかりとデータを取って検証してほしい。運転手の労働環境も確認していく必要がある。

② 運行事業者プロポーザルの結果について

【事務局】 事務局横井主査より資料6に沿って説明

【長屋委員】 実証運行から継続して運行させていただく。

③ チョイソコふそう実証運行経過報告について

【事務局】 事務局林統括主査より資料7に沿って説明

【宮川委員】 フィーダー補助は幹線系統に接続していれば100%まで支払えることになっているが、扶桑町では幹線系統がないので、交通不便地域の面積範囲に応じて補助額が決まることになるので、ご了承いただきたい。

3 その他

【事務局】

次回会議は6月24日の午後。先に運賃協議会を開催してから、交通会議を実施する予定。また、江南市の公共交通に与える影響について、チョイソコで江南厚生病院へ向かう予約が成立した方を対象にアンケート調査を実施している。調査期間は7月までとしており、結果がまとまったら、会議で報告させていただく。

4 閉会

【事務局】

閉会の挨拶を行う。

令和 6 年 5 月 24 日

本書は、令和6年4月30日に開催された扶桑町地域公共交通会議の議事要旨に相違ないことを証する。

署名人

源 千秋

署名人

長屋 涼